

安住寺だより

禪の心

第136号

発行 安住寺（年4回発行）
 臨済宗南禅寺派
 大分県杵築市大字南杵築379
 〒873-0002 Tel.0978-62-2680
<http://www.anjyuji.net>

編集 矢野明玄
 印刷 安住寺

本山授戒会団参受付中！

いよいよ本山授戒会が明年になりました。旅行のスケジュールも、最終決定の時期になります。そこで、授戒を申し込まれている方は、参拝の方法をはっきりと決めて、団体旅行に参加するか直接本山の儀式に参加するかを寺の方へお知らせ下さい。9月中に参加人数を把握し、乗り物や宿の手配をいたします。お早くお願い致します。

責任役員と総代さんの交代



先頃、役員さんの交代がありました。前列右より退任された廣石悟総代、山田玄規責任役員、麻生博行・藤原常一各総代。後列は明玄新住職、中村文三・清末静男・川野省三各新総代さんです。前任者同様、何卒よろしくお願いいたします。

今日 きょう
彼岸 ひがん
菩提の種を蒔く日 ぼだい たねをまき ひかな
 松尾芭蕉 玄徳記

猛暑も幾分和らぎ、朝夕は涼しくなりました。それにしても今年ほど自然の猛威が恐怖に感じたことはありません。たくさんの命が奪われ、生活の場が失われました。被災された方が、一日も早く立ち直ることを願うばかりです。

秋の彼岸会となりました。芭蕉は菩提の種を蒔く日だと詠みました。菩提は、梵語でボーディサットバといい、悟りに至る智慧のことです。ちようど彼岸の頃は、冬野菜の種蒔きの時期になります。悟りを野菜の収穫に置き換え、今こそ悟りを得る種を蒔こうと詠んだのです。

精進 しょうじん
忍辱 にんじく
持戒 じかい
布施 ふせ

では、その「種」とはどんなものでしょうか。お仏壇に供物を供え、墓参りをするのも一つの種ですが、六つの徳目「六波羅密」を行じましようと言ったのが仏教徒の修行であり、お悟りの実を結ぶ種なのです。それは、次の六つです。

むさぼりの心を離れ、恵みの心で人々に施す。
 つつしみの心で規律を守り、決まりに従って正しく生きる。
 我慢の心で苦難に耐え忍び、一切のいかりをしずめる。
 怠けることなく、励む心で、一心に努力をする。

行事予定

12月21日	12月18日	12月7日	11月26日	11月24日	11月23日	11月17日	11月7日	10月24日	10月17日	10月7日	9月24日	9月22日
写経写仏の会	観音講（十時より）	独秀流詠歌（納会）	合掌会奉仕作業	写経写仏の会	チャリティーバザー	ご詠歌・観音講	独秀流ご詠歌	写経写仏の会	ご詠歌・観音講	独秀流ご詠歌	写経写仏の会	敬老会（合掌会主催）

都合により、変更することがあります。

禪定 ぜんじよう
 静かな心で精神を統一し、安すらぎの心を保つ。

智慧 ちえ
 悟りの心で智慧をみがき、ありのままに真実を見抜く。

六つの徳目、どれを見てもできそうですが、さて続けるとなると難しい。しかし、取り組まなければ実りは全く期待できません。自分にできることを一つでも、少しずつでも努めればきつと果実を得ることが出来るのではないでしょうか。

「お彼岸」は『パラミター』という古代インド語を漢訳したもので、「到彼岸」という意味。欲望や苦しみ、悩みの多いこの世（此岸）から理想の世界に生きようということ。

古寺探訪

九月十一日で東日本大震災から半年を迎えた今月の二・三日、長野県飯山市にある臨済宗ゆかりの寺を訪ねた。

二・三日は、台風十二号が四国・中国地方を北上し、和歌山県、奈良県を中心に、死者行方不明者が百人を超す大被害となった。犠牲になられた方々、被災された方々に先ず心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

大震災からの復興も儘ならない中、またしても災害に見舞われ、改めて自然の脅威を感じました。

幾筋の千曲川の支流を股超え、千曲川沿いに上越自動車道を北上する。車窓からは、台風の影響で連日降り続いた雨の為、黄河を思わせるような黄土色をした荒々しい千曲川が臨まれる。今回訪ねたお寺は、飯山市の中心にほど近い、正受庵であります。

正受庵は、三百四十年の昔、正受老人（道鏡恵端禅師）が住した禅庵である。

正受老人は、松代城主・真田信之の庶子で、故あって母の預けられた飯山城で生まれる。幼い頃から聡明で、十三歳の頃、城中へ参上した一禅師の「観音菩薩を自ら体認しろ」と言われ、深くこのことを参究され、十六歳の時に大事を悟られたそうであります。

正受老人は、出家の願いが強く、十九歳の折、城主松平忠俱公の参勤交代

に従い上洛。この折、麻布の至道無難禅師のもとで出家得度し、二十歳の若さで無難禅師の印可を受け、道鏡と号した。



正 受 庵

その後、入寺の勧めや寺領寄進の申し出があつたが、正受老人は「出家というものは三衣一鉢さえあれば良い。それ以上の物を求め、民の富を奪って何の利益がある」と固辞し、飯山の禅庵にて生涯坐禅三昧の修行生活を送られた。

正受老人には幾人かのお弟子がいましたが「衆生本来佛なり 水と氷のごとくにて」で始まる『坐禅和讃』を書かれた白隠禅師（臨済宗中興の祖）もその一人であります。

白隠禅師は十五歳の時に出家し、二十四歳の時、越後高田の英厳寺にて、夜明の鐘の音を聞いて大悟されました。

悟りを得た白隠禅師でありました

が「二三百年来おれほど痛快に悟ったものはない。我と思わん者は、来たつておれの鋒先に当つて見よ。」と悟りに尻を据え、天狗になっておりました。

天狗になっておった白隠禅師は、正受老人のお弟子宗覚の導きで、飯山を訪ねることになりましたが、正受老人は白隠の慢心を見抜き、三十棒を与え崖下に蹴落としと言われます。現在は正受庵の参道となっています。



白隠禅師蹴落し坂（参道）

この正受老人の教えに「一日暮らし」があります。

吾れ世の人と云ふに

一日暮らしといふを工夫せしより
精神すこやかにして 又養生の要を得たり 如何ほどの苦しみにても
一日と思へば堪へ易し 楽しみも亦
一日と思へば耽ふけることあるまじ
一日一日と思へば 退屈はあるまじ

一日一日をつとむれば 百年千年も
つとめやすし

一大事と申すは、今日只今の心なり
―― 正受老人集

一瞬一瞬を大切に只「今」を生きた心
心が禅の教えである。

正受老人の道歌に

指し当る事のみばかり思へただ

かへらぬ昔 知らぬ行く末

とあります。

有り難い教えではありますが、正受庵を訪れた最中に、台風被害にあわれた方、また、震災、原発事故で被災避難を余儀なくされている方々にとりまして、一瞬一瞬、一日一日がまさに一大事であり、生き抜いていく事の大変さを痛感されている事と思います。最後に、正受庵を訪ねたこの日、ご住職と懇意にされているお茶の先生が、御抹茶を点てて振舞って下さいました。月に一度ボランティアでされているので、喫茶洗心の思いで頂きました。



頂いたお土産にお抹茶

また、和尚様にも突然押し掛けお話を伺った上、お土産まで頂き心から感謝致します。大変ありがとうございました。

明玄合掌

義捐金十万円をお届けしました

三月十一日の大災害から、半年が過ぎました。雪が舞う季節から夏が終わり、実りの秋を迎えましたが、被災された方たちには季節を感じる暇もない日々だったに違いありません。早く見舞いにといいながら、漸く八月の終わりに陸前高田市と気仙沼市へ行き慈恩寺の古山敬光住職に義捐金をお渡ししました。

お伺いすれば、檀家さんの中で亡くなられた方が五十名

陸前高田市 気仙沼市へ
お見舞いに行ってきました

所在不明の方が十数名居られるとのことでした。未だ日赤からの義援金が届いていないとのことでした。寺の周囲の方は年金暮らしの方が多くそうですが若い方は、生活のためやむなく

壊れた家の木材がうず高く積み上げられている。その向こうは県立高田病院で、四階まで被災していた。



津波に飲み込まれたおびただしい数の車。所有者が確認出来てないのか、綺麗に並べられていた。



家族の生存を諦め死亡の手続きをされたそうです。

寺の周囲は約二百軒の民家が密集する漁師町で、高さ六メートル

の防潮堤から三百メートルほど離れた高台に位置し、市が指定する避難所になっていた。津波警報が出ると低地の住民が一斉に避難してきて、津波の恐ろしさを目の当たりにし、更に裏山の墓地に避難したそうです。寺は三日間孤立し、一人一個のおにぎり

とお供えの菓子などで飢えを凌いだそうです。仮設に移る際、寺の寝具や生活用品も分け与えたと言いました。

仮設に移った人たちは、自立して生活して行かねばならず、新たな問題と苦難に直面しているのが現状のようです。住職と一緒に読経し、亡くなられた方のご冥福を祈り、寺を後にし一関市へ戻りました。

片付けられた空き地には夏草が生い茂り六ヶ月の経過を物語っていました。車と大きな木材は何ヶ所かに集められ、高く積み上げられたガレキは、更に分類し処分場へ運び出されていく状況でした。

震災の
玄徳記

気仙沼市では被災の跡も生々しく地盤沈下した一方では魚のセリ声

が響いていた



気仙沼市の魚市場

気仙沼市は、短時間で被災の著しい地区を視察しました。片付けられた所とそのままの所があり、海水が三十センチ程浸水していました。

気仙沼市の市街地。殆どのガレキは片付けられていたが、未だ確認作業があるのかそのままの家や車が痛々しい。地盤沈下で海水が入りこんでいた。



市内の道路はバラスが敷かれ、かさ上げされていました。この脇でローソク線香を供えし、犠牲になられた方のご冥福をお祈り致しました。



落葉のカルタ 金子みすゞ

山路に散ったカルタは
なんの札。
金と赤との落葉の札に、
虫くいの流の筆のあと。

山路に散ったカルタは
誰が読む。
黒い小鳥が黒い尾はねで、
ちちツ、ちちツ、と啼いている。

山路に散ったカルタは
誰がとる。
むべ山ならぬこの山かげが、
さつと一度にさらってく。



おみごと 8月25日加古川市で開催された全国大会で、見事杵築中学校剣道部が、団体と個人の部で優勝しました。快挙を称え、皆様に報告します。



色紙プレゼント 広石碩田先生画
新しい色紙を頂きました。
ご希望の方は、お申し込み下さい。

平成23年度 長寿番付表 安住寺敬老場所

西	年齢	おすまい	御免蒙	東	年齢	おすまい
今村 吉枝	97		横綱	麻生 品子	98	
西 ヤヨイ	96		大関	松川 シズ子	96	
河野 ヨシエ	96		同	須賀 カズエ	96	
中村 良吉	95		関脇	高木 花子	96	
藤原 一	95		同	江藤 サツキ	95	
河野 シヅ子	95		小結	広石 チヨノ	95	
是久 チヨコ	93		同	藤原 キミ子	94	
上 昌孝	93		同	木付 延雄	93	
田代 ハツ子	93		前頭 1	宗田 起久司	93	
藤原 正美	92		同 2	清原 徳男	92	
大嶋 フミ	92		同 3	熊澤 武次郎	92	
藤原 八千代	92		同 4	江藤 ナツ	92	
阿部 ヤエ子	91		同 5	中島 朝子	92	
中村 千代子	91		同 6	石井 定	91	
今村 みきよ	91		同 7	清末 フサ子	91	
是久 サダ子	91		同 8	古田 稔	91	
江口 テル子	91		同 9	伊藤 マツエ	91	
河野 サワ	90		同 10	高橋 マサエ	91	
阿部 エミ	90		同 11	麻生 ハツエ	90	
小田原 房江	90		同 12	江藤 春	90	
平野 芳彦	90		十両 1	古田 初子	90	
近藤 カメコ	90		同 2	江藤 勝司	90	
下司 チヨ子	89		同 3	末松 武士	89	
渡邊 よし子	89		同 4	井上 フサ子	89	
工藤 絹子	89		同 5	藤原 孝顕	89	
宇都宮 キクエ	89		同 6	廣石 清一	89	
田中 モリミ	89		同 7	古庄 信子	89	
木野 スエ子	89		同 8	麻生 秀子	89	

祝

ご長寿

長寿の秘訣

それぞれご長命の方には、秘訣がおりと思います。以下ご参考にして下さい。

- ※同居の家族がある。
 - ※果物は皮ごと食べる。
 - ※血液サラサラにする食品を食べる。
 - ※ミネラル多い水を飲む。
 - ※整腸作用の有る食品を取入れる
 - ※動物性油は極力避ける。
 - ※食事は好き嫌い無く食べる。
 - ※性格はどちらかと言えば頑固
 - ※日々マイペースな生活をする
 - ※酒・タバコは適宜飲む。
 - ※自分流の趣味を楽しむ。
 - ※男性は色気を忘れない。
 - ※女性はお洒落を忘れない。 他
-

ガンパロウ日本 8月までの
お賽銭 55,986円を加え、10万円を
陸前高田市の慈恩寺へお届けしま
した。今後とも出来るだけの支援を
続けますのでご協力をお願いしま
す。出来る範囲で。